CAROLINE DANIEL

- **Journalist, political commentator and former Editor of FT Weekend**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Communications
- Economics
- Finance
- Media

キャロライン・ダニエルはイギリスのジャーナリスト、政治評論家、そしてFTウィークエンドの元編集者です。彼女は現在、テクノロジーやその他の分野をカバーするパートナーとして、グローバルPR会社Brunswickに勤務しています。

キャロラインは、英国で数少ない女性編集者の一人で、フィナンシャルタイムズの最高の印刷版の運営を担当していました。彼女は2010年6月にFinancial Timesのコメントと分析のページを運営するのに3年間を費やして任命されました。

彼女は5年以上にわたりFTウィークエンドを担当し、毎週のコンテンツ、ブランド設定、および商業部門との関係を監督していました。 5つのセクションからなる論文（芸術から経済学、財産から食物に至るまで）は広範な世界的な読者を持ち、数々の賞を受賞しています。

キャロラインは2014年にFTライブのFTのイベント部門のコンサルティング編集者にも任命されました。 FTでの彼女の16年間で、彼女はヨーロッパで最初のインターネットバブル、航空業界をカバーし、ジョージWブッシュと共に空軍大隊で頻繁に飛んでいる2005-2007からのFTのホワイトハウス特派員でした。彼女は3年間シカゴの特派員でもありました。

彼女はアラングリーンスパンのような経済学者との資本主義シリーズの未来を監督することを含む金融危機の間にFTの意見ページを走らせました。彼女は小説家から技術の達人まで。FTシリーズとのランチのための定期的なインタビュアーです。ハイテク部門との長いつながりで、彼女はダブリンのウェブサミットとカンヌで基調講演者にインタビューすることを求められているだけでなく、芸術、政治、ビットコインからビジネスの女性までのパネルの経験豊富な委員長である。

キャロラインは、BBC、Sky News、Radio 4のWhat the Papers Sayのプレゼンターでもあります。アメリカでは、彼女は政治チャットショーとNPRのゲストでした。 FTに入社する前は、New StatesmanとThe Economistの作家であり、New Laborの出現時には元英国首相のGordon Brownの研究者でした。彼女はまた著名な三国間委員会のメンバーです。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988